

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2025年1月-2回目

| | |
|-----|----------------|
| 所在地 | 東京都新宿区戸山1-21-1 |
| 施設名 | しんじゅくいるまこども園 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近なものをもっと近くで見よう！～異年齢編～

<テーマの設定理由>

- ・ マイクロスコープを使用し、身近にある小さな世界を探して目の前の物をもっと詳しくみることによって好奇心を刺激する。
- ・ 色々な物をじっくり観察することで、細かいことに気がつくきっかけをつくる。
- ・ 異年齢で行うことで、子ども同士で教え合う経験をする。

2. 活動スケジュール

- ・ 2～3人で1チーム、2チームで行う。(参加者：8名程度)
- ・ 活動時間 1時間(目安)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・ iPad ・ マイクロスコープ ・ 園庭

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 5歳児を中心に、4歳児、3歳児の子とチームで行う。
- ・ 園庭の遊具や、自然物などにスコープを当てて観察する。それ以外にも、自分が興味を持ったものにスコープをあてる。
- ・ スコープを使い、見られたことをきっかけに、別のものへの興味も持てるようにする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

(子どもたちの様子)

- ・年長児を中心に、年下の子に使い方を説明する様子が見られた。
- ・スコープを使って葉っぱや砂、細かい模様を観察し、「これなに？」と話して新しい発見に驚き、わくわくしていた。
- ・色々なところにスコープを当て、探索を楽しんでいた。
- ・スコープの使い方も、最初は保育者へ質問していたが、使い方のコツを掴むと、自分たちで試行錯誤しながら使用していた。
- ・チーム同士で、お互い見つけたものを見せ合っていて楽しんでいた。

(保育者の関わり)

- ・異年齢のチームをつくり、5歳児の子に、年下のお友だちへ遊び方を教えて欲しいこと、年下のお友だちには、お兄さんお姉さんに使い方を聞いてほしい事を伝える。
- ・最初は、「これはどんな風に見えるかな?」「あれはどうかかな?」と子どもたちの興味がむ

活動のが分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・異年齢のチームにしたことで、教え合う様子が見られた。
- ・チームごとに、興味を持つ素材が違ったことで、チーム同士で見せ合う様子も見られたので良かった。
- ・使い方や、安全な範囲は設定したが、あまり細かいルールを設定しなかったなので、子どもたちは自由な発見を楽しんでいた。自然物だけでなく、衣類や皮膚などにも興味が広がる様子も見られた。
- ・年長児中心の活動を考えていたが、異年齢のチームにしたことによって、同年齢以外の子とのコミュニケーションに広げることが出来て良かった。